

## 新規採用・削除医薬品等通知

## 新規採用医薬品通知

(薬品名)	ノベルジン顆粒 5% 劇
(英名)	Zinc acetate hydrate
(規格・含有量)	1g 中 酢酸亜鉛水和物 167.8mg(亜鉛として 50mg)を含有
(一般名)	酢酸亜鉛水和物
(メーカー名)	ノーベルファーマ
【薬価収載日】	2021年5月
【薬価】	1g 460.80円
【薬効コード】	3929
【薬効分類名】	ウィルソン病治療剤(銅吸収阻害剤)、低亜鉛血症治療剤
効能・効果	ウィルソン病(肝レンズ核変性症) 低亜鉛血症
用法・用量	〈ウィルソン病(肝レンズ核変性症)〉 成人には、亜鉛として、通常1回50mgを1日3回経口投与する。なお、年齢、症状に応じて適宜増減するが、最大投与量は1日250mg(1回50mgを1日5回投与)とする。 6歳以上の小児には、亜鉛として、通常1回25mgを1日3回経口投与する。 1歳以上6歳未満の小児には、亜鉛として、通常1回25mgを1日2回経口投与する。 なお、いずれの場合も、食前1時間以上又は食後2時間以上あけて投与すること。 〈低亜鉛血症〉 通常、成人及び体重30kg以上の小児では、亜鉛として、1回25～50mgを開始用量とし1日2回経口投与する。 通常、体重30kg未満の小児では、亜鉛として、1回0.5～0.75mg/kgを開始用量とし1日2回経口投与するが、患者の状態により1回25mgの1日1回経口投与から開始することもできる。 なお、血清亜鉛濃度や患者の状態により適宜増減するが、最大投与量は以下のとおりとする。 成人及び体重30kg以上の小児 150mg(1回50mgを1日3回) 体重10kg以上30kg未満の小児 75mg(1回25mgを1日3回) 体重10kg未満の小児 25mg(1回12.5mgを1日2回、又は1回25mgを1日1回)
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
相互作用	本剤の効果を増強させるおそれ ポラプレジンク 本剤及びキレート剤の効果を減弱するおそれ キレート剤(ペニシラミン、トリエンチン塩酸塩) 本剤及びこれらの薬剤の効果を減弱するおそれ テトラサイクリン系抗生物質、キノロン系抗菌剤、セフジニル、経口鉄剤、ビスホスホネート系製剤、エルトロンボパグ オラミン、ドルテグラビルナトリウム
副作用	重大な副作用 銅欠乏症、胃潰瘍 その他の副作用 リパーゼ増加、アミラーゼ増加、血清鉄減少

(薬品名)	エリキュース錠 5mg
(英名)	Apixaban
(規格・含有量)	1錠中 アピキサバン 5mg を含有
(一般名)	アピキサバン
(メーカー名)	ブリistol・マイヤーズ
【薬価収載日】	2013年2月
【薬価】	1錠 219.20円
【薬効コード】	3339
【薬効分類名】	経口 FXa 阻害剤
効能・効果	非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制 静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制
用法・用量	<非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制> 通常、成人にはアピキサバンとして1回5mgを1日2回経口投与する。なお、年齢、体重、腎機能に応じて、アピキサバンとして1回2.5mg 1日2回投与へ減量する。 <静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制> 通常、成人にはアピキサバンとして1回10mgを1日2回、7日間経口投与した後、1回5mgを1日2回経口投与する。
禁忌	<効能共通> 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 臨床的に問題となる出血症状のある患者[出血を助長するおそれがある。] 血液凝固異常及び臨床的に重要な出血リスクを有する肝疾患患者[出血の危険性が増大するおそれがある。] <非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制> 腎不全(クレアチニンクリアランス(CLcr)15mL/min未満)の患者 <静脈血栓塞栓症(深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症)の治療及び再発抑制> 重度の腎障害(CLcr 30mL/min未満)の患者
相互作用	<b>本剤の血中濃度が上昇するおそれ</b> アゾール系抗真菌剤(イトラコナゾール、ボリコナゾール、フルコナゾール等)、HIV プロテアーゼ阻害剤(リトナビル等)、マクロライド系抗菌薬(クラリスロマイシン、エリスロマイシン等)、ナプロキセン、ジルチアゼム <b>本剤の血中濃度が減少するおそれ</b> リファンピシン、フェニトイン、カルバマゼピン、フェノバルビタール、セイヨウオトギリソウ(St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート)含有食品 <b>出血を助長するおそれ</b> 血小板凝集抑制作用を有する薬剤(アスピリン、クロピドグレル硫酸塩、ジピリダモール、チクロピジン硫酸塩、シロスタゾール、オザゲレルナトリウム等)、抗凝固剤(ワルファリンカリウム、未分画ヘパリン、ヘパリン誘導體、低分子ヘパリン、エノキサパリンナトリウム、フォンダパリヌクスナトリウム、ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩、アルガトロバン水和物等)、血栓溶解剤(ウロキナーゼ、t-PA等)、非ステロイド性消炎鎮痛剤(ジクロフェナクナトリウム、ナプロキセン等)、デフィプロチドナトリウム
副作用	<b>重大な副作用</b> 出血、間質性肺疾患、肝機能障害

(薬品名)	マンジャロ皮下注 2.5mg アテオス マンジャロ皮下注 5mg アテオス	劇 市販直後調査 2023年4月～10月
(英名)	Tirzepatide	
(規格・含有量)	1キット中 それぞれチルゼパチド 2.5mg/5mg を含有	
(一般名)	チルゼパチド	
(メーカー名)	田辺三菱	
【薬価収載日】	2023年3月	
【薬価】	1キット 1,924円(2.5mg)/ 3,848円(5mg)	
【薬効コード】	2499	
【薬効分類名】	持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬	
効能・効果	2型糖尿病	
用法・用量	通常、成人には、チルゼパチドとして週1回5mgを維持用量とし、皮下注射する。ただし、週1回2.5mgから開始し、4週間投与した後、週1回5mgに増量する。なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週1回5mgで効果不十分な場合は、4週間以上の間隔で2.5mgずつ増量できる。ただし、最大用量は週1回15mgまでとする。	
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者 糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡又は前昏睡、1型糖尿病の患者[インスリン製剤による速やかな治療が必須となるので、本剤を投与すべきでない。] 重症感染症、手術等の緊急の場合[インスリン製剤による血糖管理が望まれるので、本剤の投与は適さない。	
相互作用	<b>低血糖の発現に注意</b> 糖尿病用薬(ピグアナイド系薬剤、スルホニルウレア剤、速効型インスリン分泌促進剤、 $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤、チアゾリジン系薬剤、DPP-4阻害剤、インスリン製剤、SGLT2阻害剤等) <b>経口避妊薬の効果を減弱させるおそれ</b> 経口避妊薬 <b>ワルファリンの tmax が遅延するおそれ</b> クマリン系薬剤(ワルファリンカリウム)	
副作用	<b>重大な副作用</b> 低血糖、急性膵炎、胆嚢炎、胆管炎、胆汁うっ滞性黄疸	

(薬品名)	イジユド点滴静注 25mg イジユド点滴静注 300mg	劇・生物 市販直後調査 2023年3月～9月
(英名)	Tremelimumab (Genetical Recombination)	
(規格・含有量)	1 バイアル中 それぞれトレメリムマブ 25mg/300mg を含有	
(一般名)	トレメリムマブ	
(メーカー名)	アストラゼネカ	
【薬価収載日】	2023年3月	
【薬価】	1 バイアル 214,801 円(25mg)/2,311,819 円(300mg)	
【薬効コード】	4291	
【薬効分類名】	ヒト型抗ヒト CTLA-4 モノクローナル抗体	
効能・効果	〈イジユド点滴静注 25mg〉 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 切除不能な肝細胞癌 〈イジユド点滴静注 300mg〉 切除不能な肝細胞癌	
用法・用量	〈イジユド点滴静注 25mg〉 ○切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 デュルバルマブ(遺伝子組換え)及び白金系抗悪性腫瘍剤を含む他の抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはトレメリムマブ(遺伝子組換え)として、1回 75mg を 3 週間間隔で 4 回、60 分以上かけて点滴静注する。その後、7 週間の間隔を空けて、トレメリムマブ(遺伝子組換え)として、75mg を 1 回 60 分以上かけて点滴静注する。 ○切除不能な肝細胞癌 デュルバルマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人にはトレメリムマブ(遺伝子組換え)として、300mg を 60 分以上かけて単回点滴静注する。ただし、体重 30kg 以下の場合の投与量は 4mg/kg(体重)とする。 〈イジユド点滴静注 300mg〉 ○切除不能な肝細胞癌 デュルバルマブ(遺伝子組換え)との併用において、通常、成人にはトレメリムマブ(遺伝子組換え)として、300mg を 60 分以上かけて単回点滴静注する。ただし、体重 30kg 以下の場合の投与量は 4mg/kg(体重)とする。	
禁忌	本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者	
相互作用	記載なし	
副作用	<b>重大な副作用</b> 間質性肺疾患、大腸炎、重度の下痢、消化管穿孔、甲状腺機能障害、副腎機能障害、下垂体機能障害、肝機能障害、肝炎、腎障害、筋炎、心筋炎、膵炎、脳炎、Infusion reaction、重度の皮膚障害、神経障害 <b>その他の副作用</b> 発疹、そう痒症、下痢	

【薬品名】	ペムトレキセド点滴静注用 100mg「NK」 ペムトレキセド点滴静注用 800mg「NK」	劇
【英名】	Pemetrexed Sodium Hemipentahydrate	
【規格・含有量】	1 バイアル中 それぞれペムトレキセドとして 108.5mg/816.0mg を含有	
【一般名】	ペムトレキセドナトリウムヘミペンタ水和物	
【メーカー名】	日本化薬	
【薬価収載日】	2021 年 6 月	
【薬価】	1 バイアル 11,346 円(100mg)/ 70,743 円(800mg)	
【薬効コード】	4229	
【薬効分類名】	代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤	
効能・効果	悪性胸膜中皮腫 切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌 扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法	
用法・用量	<p>〈悪性胸膜中皮腫〉</p> <p>シスプラチンとの併用において、通常、成人にはペムトレキセドとして、1 日 1 回 500mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を 10 分間かけて点滴静注し、少なくとも 20 日間休薬する。これを 1 コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。</p> <p>〈切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌〉</p> <p>通常、成人にはペムトレキセドとして、1 日 1 回 500mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を 10 分間かけて点滴静注し、少なくとも 20 日間休薬する。これを 1 コースとし、投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。</p> <p>〈扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌における術前補助療法〉</p> <p>ニボルマブ(遺伝子組換え)及び白金系抗悪性腫瘍剤との併用において、通常、成人にはペムトレキセドとして、1 日 1 回 500mg/m<sup>2</sup>(体表面積)を 10 分間かけて点滴静注し、少なくとも 20 日間休薬する。これを 1 コースとし、3 コースまで投与を繰り返す。なお、患者の状態により適宜減量する。</p>	
禁忌	<p>本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者</p> <p>高度な骨髄抑制のある患者[骨髄抑制が増悪し、致命的となることがある。]</p> <p>妊婦又は妊娠している可能性のある女性</p>	
相互作用	<p><b>本剤の血中濃度が上昇するおそれ</b> 非ステロイド性抗炎症剤(イブプロフェン等)、腎毒性を有する薬剤又は腎排泄型薬剤(プロベネシド、ペニシリン等)</p> <p><b>骨髄機能抑制等の副作用が増強するおそれ</b> 抗悪性腫瘍剤</p>	
副作用	<p><b>重大な副作用</b> 骨髄抑制、感染症、間質性肺炎、ショック、アナフィラキシー、重度の下痢、脱水、腎不全、中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群(StevensJohnson 症候群)</p> <p><b>その他の副作用</b> 食欲不振、悪心、嘔吐、AST 上昇、ALT 上昇、血中 LDH 上昇、血中 AI-P 上昇、発疹、倦怠感、発熱、CRP 上昇</p>	

(薬品名)	<b>オルミエント錠 2mg</b> 劇
(英名)	Baricitinib
(規格・含有量)	1錠中 パリシチニブ 2mg を含有
(一般名)	パリシチニブ
(メーカー名)	日本イーライリリー
【薬価収載日】	2017年8月
【薬価】	1錠 2,705.90円
【薬効コード】	3999
【薬効分類名】	ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤
効能・効果	<p>○既存治療で効果不十分な下記疾患</p> <p>関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む)</p> <p>アトピー性皮膚炎<sup>注)</sup></p> <p>○SARS-CoV-2による肺炎(ただし、酸素吸入を要する患者に限る)</p> <p>○円形脱毛症(ただし、脱毛部位が広範囲に及ぶ難治の場合に限る)</p> <p>注)最適使用推進ガイドライン対象</p>
用法・用量	<p>〈関節リウマチ、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症〉</p> <p>通常、成人にはパリシチニブとして4mgを1日1回経口投与する。なお、患者の状態に応じて2mgに減量すること。</p> <p>〈SARS-CoV-2による肺炎〉</p> <p>通常、成人にはレムデシビルとの併用においてパリシチニブとして4mgを1日1回経口投与する。なお、総投与期間は14日間までとする。</p>
禁忌	<p>本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者</p> <p>活動性結核の患者[症状が悪化するおそれがある。]</p> <p>好中球数が<math>500/\text{mm}^3</math>未満の患者</p> <p>妊婦又は妊娠している可能性のある女性</p> <p>〈関節リウマチ、アトピー性皮膚炎、円形脱毛症〉</p> <p>重篤な感染症(敗血症等)の患者[症状が悪化するおそれがある。]</p> <p>重度の腎機能障害を有する患者</p> <p>リンパ球数が<math>500/\text{mm}^3</math>未満の患者</p> <p>ヘモグロビン値が<math>8\text{g/dL}</math>未満の患者</p> <p>〈SARS-CoV-2による肺炎〉</p> <p>透析患者又は末期腎不全(<math>\text{eGFR}</math>が<math>15\text{mL/分/1.73m}^2</math>未満)の患者</p> <p>リンパ球数が<math>200/\text{mm}^3</math>未満の患者</p>
相互作用	<b>本剤の血中濃度が上昇するおそれ</b> プロベネシド
副作用	<p><b>重大な副作用</b> 感染症、消化管穿孔、好中球減少、リンパ球減少、ヘモグロビン減少、肝機能障害、黄疸、間質性肺炎、静脈血栓塞栓症</p> <p><b>その他の副作用</b> LDLコレステロール上昇</p>

## 削除医薬品通知

バイエッタ皮下注 5 µgペン 300  
 バイエッタ皮下注 10 µgペン 300  
 アリムタ注射用 100mg  
 アリムタ注射用 500mg

5/31 削除

## 後発医薬品採用通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>7月4日より</u>                      デクスメトミジン静注用 200 µg/50mL シリンジ「ニプロ」</li> </ul>	プレセデックス静注液 200 µg/50mL シリンジ「ファイザー」

※デクスメトミジン静注液の適応は成人のみのため、18歳未満の患者様にはプレセデックス静注液をご使用願います。

オーダー時の注意喚起として、下記のように表示させていただきます。

(小児)プレセデックス静注液 200 µg/50mL シリンジ「ファイザー」

(成人)デクスメトミジン静注用 200 µg/50mL シリンジ「ニプロ」

## 供給不足及び販売中止による医薬品変更通知

変更後	変更前
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>5月19日変更済</u>                      ガスコンドロップ内用液 2%</li> </ul>	ジメチコン内用液 2%「ホリイ」
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>6月1日より変更</u>                      リザベンカプセル 100mg</li> </ul>	トラニラストカプセル 100mg「トーワ」
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <u>在庫消尽後変更</u>                      ビオフェルミン R 散                      ワイドシリン細粒 10%                      ニカルジピン塩酸塩注射液 10mg「サワイ」</li> </ul>	耐性乳酸菌散 10%「トーワ」 パセトシン細粒 10% ニカルジピン塩酸塩注射液 10mg「日医工」

## 剤形変更医薬品通知

リクラスト点滴静注液 5mg

6/1 より、ボトル製品からバッグ製品に変更

## 専用溶解液の添付がなくなる薬品

ノイトロジン注 100  $\mu$ g

ノイトロジン注 250  $\mu$ g

在庫消尽後

## 供給不足のため、今後欠品となる薬品

ノルデイトロピン フレックスプロ注 10mg

## 適応追加通知

スキリージ皮下注 150mg  
シリンジ 1mL

### 【効能・効果】

既存治療で効果不十分な下記疾患

尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、**掌蹠膿疱症**

### 【用法・用量】

〈**掌蹠膿疱症**〉

**通常、成人にはリサンキズマブ(遺伝子組換え)として、1回 150mg を初回、4週後、以降 12週間隔で皮下投与する。**

〈他〉省略